

トップ
コミットメントサステナビリティ
推進体制JFRの
マテリアリティ低炭素社会への
貢献サプライチェーン
全体のマネジメント地域社会との
共生ダイバーシティ
の推進ワーク・ライフ・
バランスの実現事業会社の
ESGの取り組み社外取締役
メッセージ

ガバナンス

データ集

Scope1・2温室効果ガス SBT認定取得・TCFD提言賛同 JFR環境マネジメント体制の構築に向けて → 温室効果ガス削減取り組み策 ESGモデル店舗

温室効果ガス削減取り組み策

再生可能エネルギーへの 切り替え

JFRグループの温室効果ガス排出の大半が電力の使用である現状を踏まえ、温室効果ガス排出量削減の取り組みは、電力の使用に重点を置くことが重要であると考えています。

大丸松坂屋百貨店では、2019年3月本社ビル(東京都江東区)および、2019年9月大丸心斎橋店で使用する電力を、100%再生可能エネルギーに切り替えました。再生可能エネルギー電力への切り替えによる2019年度の温室効果ガス削減量は、基準年となる2017年度比で本社ビル約240t-CO₂削減、建替え前の2015年度比で大丸心斎橋店*1約7,000t-CO₂削減を見込んでいます。

また、パルコでは、調布パルコおよび池袋パルコ(P'館)において2019年10月より、再生可能エネルギー電力に切り替えました。再生可能エネルギー電力への切り替えによる2019年度の温室効果ガス削減量は、基準年となる2017年度比で調布パルコ約1,900t-CO₂削減、池袋パルコ(P'館)約750t-CO₂の削減を見込んでいます。

今後も、大丸松坂屋百貨店やパルコを中心に、東京地区、関西地区、中部地区の主要店舗において、再生可能エネルギー電力への切り替えを順次進めていきます。また、2020年度中には、当社グループとして「RE100(Renewable Energy 100%)^{**2}」への加盟も検討しています。

*1 本館建替えのため、建物構造は同一ではありません。

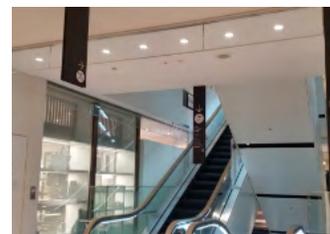
*2 企業の再生可能エネルギー100%を推進する国際的イニシアチブ

省エネ効率の高い機器の 導入・LED化の推進

JFRグループでは、温室効果ガスを削減し、地球温暖化を防止するために様々な省エネに取り組んでいます。設備の更新時や改装時・新規出店時には省エネ効率の高い機器を順次導入しています。

大丸松坂屋百貨店では、既存照明をLED照明へ変更することにより使用電力および温室効果ガスの削減に努めています。2019年2月までに、全店舗内LED交換対象の約48%にあたる20万5千台をLEDに切り替えました。2025年度までに、交換対象の約43万台全てをLED化する予定です。

また、当社グループは百貨店事業による店舗運営のほか、建築事業や卸売事業、人材派遣事業など多種多様なグループ企業を抱えています。そのため、店舗での省エネにとどまらず、工場やオフィスなどでも出来る省エネにも積極的に取り組み、グループ全体での温室効果ガス削減を推進していきます。



天井照明をLED化
(大丸東京店)

社用車のEV化と エコドライブの推進

社用車のEV(電気自動車)化

大丸松坂屋百貨店では、社用車のEV化を推進しています。2019年12月までに、大丸心斎橋店お得意様営業部の社用車70台をEV車に切り替えました。大丸心斎橋店における社用車のEV化による温室効果ガス削減量は、基準年となる2017年度比で、約190t-CO₂の削減を見込んでいます。2019年度中に、首都圏お得意様営業部の社用車34台、神戸店お得意様営業部の社用車14台などと合わせ、合計128台のEV車への切り替えを完了する計画です。また、2025年度までに、グループ全社の社用車をEV車に切り替えていきます。

エコドライブの推進

大丸松坂屋百貨店では、お得意様営業部の社用車に、「テレマティクス」(移動体通信システム)を導入しています。「テレマティクス」は、速度超過や、急加速・急減速、燃費など、担当員の運行状況をデータ化するシステムです。安全運行委員会を毎月開催し、導入店においては「テレマティクス」のデータをもとに、燃費の向上を目的としたエコドライブや安全運転の実施に役立てています。